
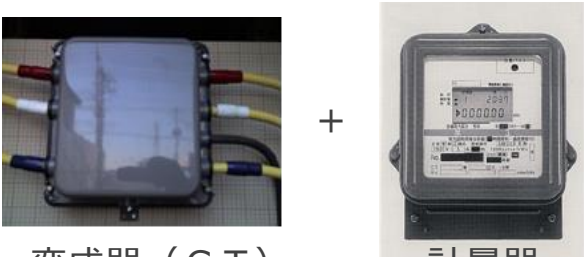


# 組合せ計器(低圧)のスイッチング対応について

平成 27 年 11 月  
電気事業連合会

- 低圧受電における取引用計器には、「単独計器」と「組合せ計器(変成器付計器+変成器)」が存在する。

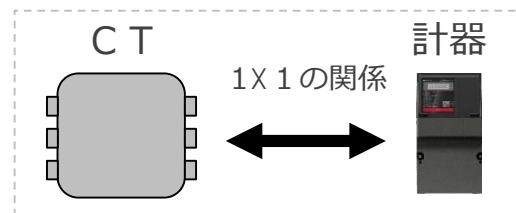
種類	外観	適用範囲
○単独計器	 <p>機械式      電子式      スマメ</p>	<p>・適用範囲は各社にて異なるが、以下の契約容量を目安に組合せ計器を設置</p> <p>&lt;契約容量※&gt;</p> <p>単2 100V           : 12kW以上</p> <p>単2 200V           : 24kW以上</p> <p>単3 100/200V      : 23kW以上</p> <p>三3 200V           : 36kW以上</p> <p>※各社の最低適用範囲を記載</p>
<p>○組合せ計器 (変成器付計器+変成器)</p> <p>※低圧計器全体の約0.4% (約30万台/約7,830万台)</p>	 <p>変成器 (CT)      計量器</p>	

- スマートメーターに対応した組合せ計器は、現在開発中(主要品目は3月下旬までに納入予定)であり、スイッチング申込みに伴うスマートメーターの設置は、準備が出来次第、順次対応を開始する予定。

# 組合せ計器(低圧)の検定

- 「組合せ計器(変成器付計器+変成器)」を取引用計器として使用するために、計量法※において「一般検定」または「特別検定」が必要と規定されており、計器と変成器(CT)の組合わせで検定に合格する必要がある。

※計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保し、もって経済の発展及び文化の向上に寄与することを目的として国が定めている。

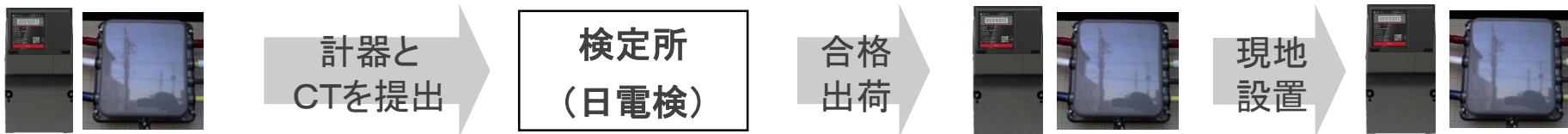


- 必要な検定は、残存検定有効期限等によって決定する。

<検定種別>

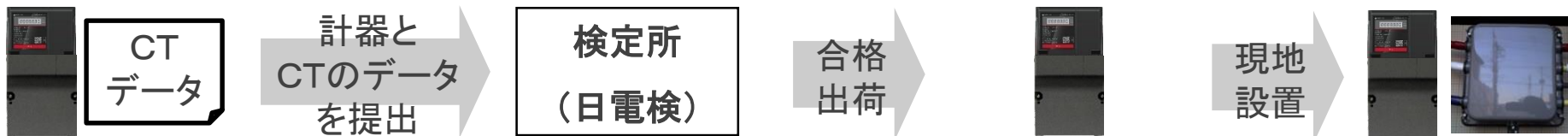
【検定有効期限】 電子式計器 : 7年、変成器(CT) : 最大21年

**一般検定** : 検定有効期限満了に伴い、計器と変成器を同時に検定(取替)すること【**停電取替**】



※原則、検査年から14年以上のCTの場合に実施

**特別検定** : 検定有効期限満了に伴い、計器のみを検定(取替)すること【**停電または無停電取替**】



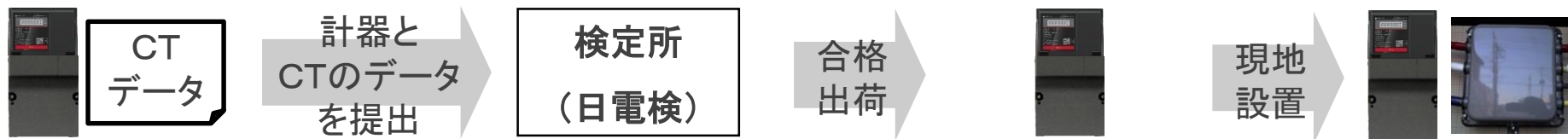
※原則、検査年から14年以内のCTの場合に実施

# 組合せ計器(低圧)の設置までの流れ

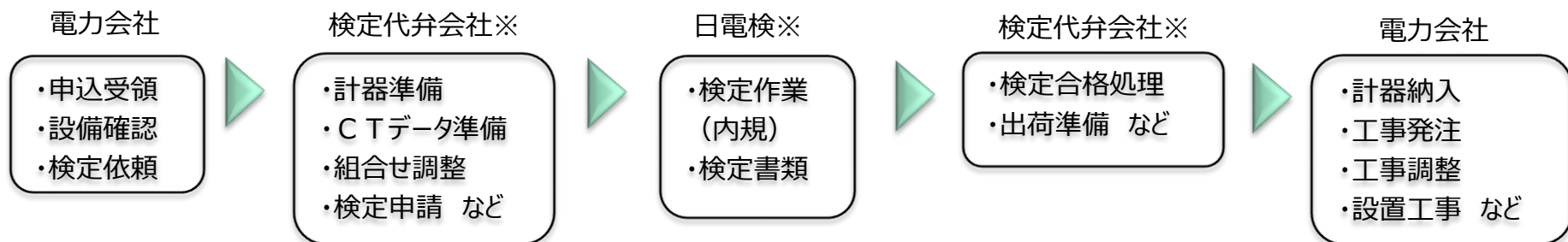
- ・ 組合せ計器の設置に際しては、現地設置までに2ヵ月(40営業日)程度を要する場合がある。

<設置までの流れ (例 : 特別検定の場合)>

**特別検定** : 検定有効期限満了に伴い、計器のみを検定(取替)すること



※原則、検査年から14年以内のCTの場合に実施



※高低圧の組合せ計器の検定作業に加えて、低圧単独計器の検定作業も並行して実施している

2ヵ月程度

- ・ 組合せ計器の設置までの期間短縮等、ならびに、小売電気事業者への具体的な設置時期の周知方法等については、引き続き各社で検討を進める。